小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 岡 謙吾
発行日 毎月15日

◇◇◇◇ 私の一言 ◇◇◇◇

あなたはどう思いますか？

中央公民館では、小須戸町のよりよい発展を願って昔小須戸町に住んでいて、今は他市町村に移り住まわれた方や、新しく小須戸町に嫁いできた方を対象に「我が町・小須戸町」をどのように感じ、どのように考えておられるか、その声を聞かせていただきました。

私が育った町「小須戸町」の町並み

〈今は他市町村に住んでいる方々の声〉

Q 小須戸町の印象は？

○自分がいつも騒がしい所に住んでいるせいか、昔の方がもっと活気があったように思います。
○いつまでも、昔の小須戸であってほしい。生まれ育った故郷はいくつになっても忘れられません。
○町の中心部は活気がなく、とても寂しそうに見えます。
○故郷です。よい印象ばかりです。
○人生は色々と山あり谷ありでしたが、昔の小須戸町がなつかしいですね。
○心を許して住める温もりのある町。母の懐のような感じの町だと思います。

Q 小須戸町は良いと感じるところ

○広々として気分までゆったりとします。大きな道が何本も通り色々な面で便利になった。
○花と緑の町。山あり川あり自然が豊かでうるおいのある町。
○あまり極端に都市化していないところ。
○温かい人情味がある。
○古い町並みがそのままである。

Q 逆に小須戸町の悪いと感じるところ

○小須戸矢代田間のバス回数が少なく、家族の会食や買物は他の町まで行かなければならない。
○交通の便が悪い。医療機関が全部揃わない。
○電車の駅が遠い。

Q こうあってほしいと思う小須戸町

○町民の健康管理、例えば各種検診制度の実施や高齢者世帯に対する配慮、定期訪問制度の確立等、並びに託児所施設の充実等が必要と思われる。
○多くの町民が参加できるような行事を企画し、積極的に行う。
○もう少し人口が増えたら町も変わるでしょう。
○矢代出山あたりに、どでかい公園をつくって金津の石油の里の見学者をここに!!
○いつまでも昔の小須戸町であってほしい。
○ユートの町でもあるので、年に一～二回展示会を催したり即売会をしていただきたい。
○小須戸市になってもらいたい。
○第三セクター方式で近隣の町へ行くバスを増発する。

活気のある町づくりをめざして…

〈他市町村から嫁いできた方々の声〉

Q 小須戸町の印象は

○お年寄りには住みよさそうですが、子供を育てていくには中途半端なところがある。
○のんびりしているけど、活気がない。
○静かだが、人気がない感じ。

Q 小須戸町は良いと感じるところ

○花とみどり館の公園があること、テニスコートが安く借りられる等。
○田んぼに白鳥が来ること。
○小さな町なので何をするにもまとまりやすい。仲間意識が強い。
○緑が多いし花々も多いところ。

Q 逆に小須戸町の悪いと感じるところ

○交通の便が悪い。道路整備が悪い。
○活気がなく、新しいものに取り組む姿勢が感じられず、町の行事などは時間やお金をかけているわりにパッとしない。
○図書館がなく、ちっぽけな図書室があるだけ。又、予防接種や検診が少なすぎる。
○新しいことに対して（人間・企業）、あまり受け入れない傾向にあると思う。
○田舎なのに自然さがなく、車が多くて子供一人で外に出られない。
○自然が少しずつなくなっていく。

Q こうあってほしいと思う小須戸町

○子供を受け入れる場所や機会を作ってほしい。保育所も一時預りできたり、一年中いつでも遊べる室内の遊び場がほしい。
○大きな図書館や田上の遊々ランドのような施設がほしい。
○小須戸町には、これがあるから行きたいと思える様な所があったらいいと思う。
○あまりにも文化施設がなく、これから育っていく子供と大人（町民）に対してまったく期待していないように思われるので、もっと文化施設を作って還元してほしい。
○他の企業を受け入れ、工業団地なども設けて、町を活性化してもらいたい。

Q その他気づいた点は…

○子供の手が離れて時間がある方は、育児ボランティアをしてもらいたい。
○冬期間中だけでも、中学校のスクールバスを運行してもらいたい。

（さて、皆さんはどう感じましたか？）

次号では、広い年齢層の方々から集まっていただき「小須戸町の文化活動」をテーマに座談会を開き、その要点をお知らせする予定です。

座談会の中にも、今回寄せていただいた小須戸町を考えての皆さんの声が浸透するよう進めて行きたいと思っています。

ちょこっと一言 (83)

家庭の味

矢代田八 高野タキさん

実家に行く都度「何にもねえけど、膳食べてけ」と母が言います。私は「お腹すいてないからいいわ」と言いながらもついつい手が伸びてしまいます。

子供の頃そんなに美味しいと思って食べてた訳でもなく特別な材料を使ってもないのに素朴で懐かしい味で箸が進みます。

お店に行けば、煮物・揚物・サラダ等々何んでも揃い簡単に食卓を賑わしてくれますが、味が画一的で何か物足りなさが残ります。

私はいつも便利に既成品を利用しているけれど、我家の二人の息子が歳をとった時に思い出す家庭の味があるだろうか？

反省……。

今年から愛情で手作りを実践しようと意気込んでみたが……

さて、今晩のメニューは？

寒稽古

寒さに負けず元気一杯

一月二十三日から二十九日まで毎年恒例の寒稽古が実施されました。

柔道は柔剣道場、剣道は小須戸中体育館とに分かれ、各々選手・指導者等気合の入った声が練習場に響きわたっていました。

あいにくと風邪の流行で参加者も少なかったそうですが、その分みんな元気いっぱい練習に励んでいました。

寒稽古の最終日は、柔道・剣道共に紅白戦を行い、その後はおしるこを飲んで終了しました。

〈みんな、よくがんばったね〉

第十四回新春ソフトテニス 小須戸大会終了

一月八日(日)町民体育館に於いて第十四回新春ソフトテニス小須戸大会が開かれました。

〈大会成績〉 （敬称略）

一位 渡辺・菊池組(二葉中)
二位 山村・桜井組(見附西中)
三位 上原・辺見組(〃)
〃 小堀・永島組(二葉中)

「みんなの善意」ありがとうございます

去る一月十七日早朝、マグニチュード7.2という大地震が兵庫県・淡路島を直撃し、大勢の方が被災され、未だに不安な毎日を送っています。

この阪神大震災に少しでもお役に立ててもらいたいと、小須戸小学校の生徒さんをはじめ、多くの団体並びに多くの方々から、義援金が窓口の保健福祉課に寄せられております。

たいへん ありがとう ございます。

血液が不足しています！成分献血にご協力を

成分献血とは、血液成分分離装置を用いて血小板等の血液成分だけを献血していただく方法です。従来の献血と同様に身体に影響はまったくありません。事前検査と採血を含めて約一時間の所要時間がかかります。

待ち時間を少なくするため、予約制となっています。

皆さんのご協力をお願いします。

★日時 二月三日(金)
午前十時～十二時
午後一時～四時
★場所 保健センター（役場）
★申込 役場 保健衛生係まで
電話三八―二一一一
★〆切 三月一日(水)

※採血者数は、一時間六名で午前十二名、午後十八名を予定しています。

読んでトクする豆知識

卵に買った日付を鉛筆でつける

卵は腐りやすいものです。どの卵が古いのかわからなくなってしまわないように、買ったらその日付をすぐつけましょう。

公民館報をお読みになってのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

尚、裏面の「これは言いたい！」「我が家の宝物」、その他何でも皆さんからの投稿をお待ちしています。

（ご連絡下されば、担当がお伺いします。）

ご投稿下さった方に粗品を用意しております。

〈宛て先〉
小須戸町若葉町二丁目
小須戸町中央公民館内
館報編集事務局

小正月行事の繭玉を飾りました

中央公民館では、今年から小正月行事の繭玉を、一階ロビーに飾りました。

この繭玉は、養蚕（かいこ）の安全を祈る事から結びついたものだそうです。

又、縁起のよい宝船や大判・小判なども飾って、家の繁栄を祈ります。

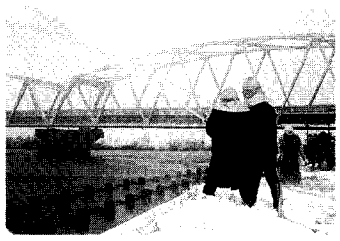
公民館では、古くから伝えられてきた正月の風習を皆さんにも楽しんでいただきたいと考え繭玉を飾ってみました。

「おじいちゃん・おばあちゃん おとうさん・おかあさん!!」小正月の行事を我が子に伝えてあげてください。

これを機会に、中央公民館では、色々な行事を皆さんに知っていただくよう工夫していきますのでご期待ください。

来年も見に来てね――。

1月のナイスショット



6日　消防出初式
今年も火災には気をつけましょう！

13日　矢代田小書初大会
みんな、じょうずに書けました。

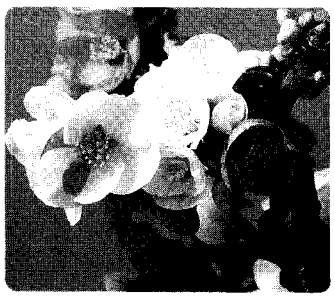
24日　第三回生きがい講座
「いま、よろこびと感動を」大野風柳先生からの本当にタメになるお話でした。

第十八回 日本ボケ展ご案内

ボケは、別名「放春花」と呼ばれる美しい花木です。日本一を誇る規模で行われる会場で、一足早い春を満喫してください。

日時　二月三日(金)から五日(日)の三日間
午前九時～午後五時
（最終日は午後四時まで）

会場　小須戸町民体育館



小須戸町連合PTA交流会
～大いに盛りあがる～

小須戸町連合PTAでは、昨年まで各関係機関の協力を得て小須戸町教育懇談会を開催し大きな成果を上げてきましたが、今年度は名称を「小須戸町連合PTA交流会」とし、もう一度PTA活動の原点に立ち返り、各PTAの抱えている課題や悩みを交流し学びあう中から克服できる糸口を見いだそうという位置づけで約六十名が集い交流会が開催されました。

交流会では、問題定義として現在大きな社会問題になっている『いじめ』についての中学生による討論会のビデオを視聴しその後、幼稚園・小学生低学年・高学年・中学生のグループに分かれて『学校週五日制月一回の実施』などをテーマに交流が行われました。

生涯学習講演会

「生涯にわたっての学習活動は大切だと思う」と考えている人は、町全体で八十%を超えています。

やってみよう、やってみたいと考えている人！待っています。

日時　二月一日(水)
午後一時二十分から三時

会場　中央公民館三階ホール

テーマ　〝生涯学習とは…？〟

講師　佐々木　實先生
東洋英和女学院大学教授

会場　中央公民館三階会議室

テーマ　「ヨガと健康法」

お話　山田　啓一さん
（ヨガ愛好会会長）

催し物ご案内

老連おたのしみ会

日時　二月二十四日(金)
午前九時三十分開会

会場　中央公民館三階ホール

主催　小須戸町老人クラブ連合会

老連輪投げ大会

日時　二月五日(日)
午前十時から午後三時

会場　小須戸小学校体育館

主催　小須戸町老人クラブ連合会

三月のおもしろ雑学講座

日時　三月十日(金)
午後七時三十分から九時

図書だより

中央公民館

個人的な体験　大江健三郎
燃えあがる緑の木　〃
吉宗　男は度胸　大江健三郎
沃野の伝説　上・下　柴田錬三郎
無手の法悦　内田　康夫
消えた義経　大石　順教
物書同心居眠り終蔵　中津　文彦
大わらんじの男　佐藤　雅美
乳房　津本　陽
天鵞絨物語　伊集院　静
恋に散りぬ　林　真理子
安西　篤子　飼猫ボタ子の生活と意見
愛死　上・下　瀬戸内寂聴
検察捜査　中嶋　博行
にっぽん妖女伝　早乙女　貢
私から愛したい　藤堂志津子
歴史小説全集　一・二　永井　路子
小さな一歩から　三浦　綾子
腰折れの話　江藤　淳
ピンクのチョコレート　林　真理子
本取り虫　群　よう子
小説の経験　大江健三郎
東京発　千夜一夜　森　瑶子
メダカと飛んだ15日　向井　千秋
キモヨまだ九十歳　群　よう子
妥　子　上・下　宮城谷昌光
徳川吉宗の謎　髙野　澄
五人女捕物くらべ　上・下　平岩　弓枝
黄色いリボン　曽野　綾子
新源氏物語　有吉　玉青
ピアッシング　田辺　聖子
河井継之助を支えた男　村上　龍
立石　優
ビタミン・バイブル　小学館
間違いだらけの車選び
日本語表と裏　森本　哲郎
道は開ける　カーネギー
体をダメにする食べ合わせ　林　義人
医者のホンネ　池田　直昭
バカうけゲーム　髙氏　雅昭
おごるな上司　堀田　力
佐渡万華鏡　郷土出版社
新潟県の街道　郷土出版社
なつかしの日本　心交社
（他十冊）

ふれあい会館

影武者徳川家康　上・下　隆　慶一郎
海の街道　上・下　童門　冬二
忠臣蔵とは何か　丸谷　才一
機関車先生　伊集院　静
夢渦巻　田辺　聖子
ひとつ屋根の下の他人　加藤　諦三
沃野の伝説　上・下　内田　康夫
僕に踏まれた町と僕が踏まれた町　中島　らも
そう悪くない　林　真理子
病院を考える　新潟日報社編
日本語の真相　イ・ヨンヒ
虹の岬　辻井　喬
個人的な体験　大江健三郎
（他十七冊）

リストアップ
小須戸民謡保存会

小須戸民謡保存会も、発足して以来四十余年、全会員辺余曲折を経て頑張ってまいりました。

高齢者社会とは言いながらも熟年の域を超え、健康と若返りのために精進し、小須戸甚句の踊りを保存して、企業・子供を含む町民の指導にあたり、小須戸祭り民謡流しには活躍してまいりました。先人より受け継いだ小須戸甚句を普及することも使命と思っています。

尚、一昨年の発表会には、特別出演の西崎先生（民謡保存会の講師）による日本舞踊に感動いたしましたが、本年も発表会を計画し、皆様よりご観賞いただきたいと願っております。

又、一昨年加茂文化会館に小須戸甚句を被露し、当町出身者や他方面の各位にご好評を得、町の宣伝をしてまいりました。

今年こそは、新会員の入会を待っています。練習日、講習会等についても公民館と相談し、計画していきたいと思っています。会員も技術は未熟ですが、町文化の向上と、人との和、健康維持に力を合わせて、先人よりいただいたものを大切に楽しみながら踊っている現在です。

文芸欄

川柳

初詣で無神論者も手を合わせ　小林みのる
初日の出玉虫色のベレー帽　我妻清作
初釜へ少し着飾る春の色　小見キン
褒め合って友と手習う筆はじめ　渡辺信子

短歌

夜具通す冷気に触れて目覚む朝聞こゆる吾子の気がかりな咳　村山文子
徐々徐々に気になりしこと唯一つ急がず力つなぎてゆきたし　鈴木ハナ
雪の道心素直に歩みゆく晩年孤独の予言信じて　我妻清作
雪の夜の囲炉裏の灰を均しつつありし日の母は炭をつぎゐき　吉田久次

俳句

天空や御札焼く火の去年今年　花沢いせ子
鬼やらひ園児等の声風にのり　須藤恵美子
囲む座の湯豆腐の揺れはじめたり　村山又雄
雪吊りの水面にあれば乱される　安達キヨノ
啼きやんで木の瘤となる冬の鵙　間島秀穂
去年今年ネオンの如く点滅す　佐久間久子
来年も生きる心算の日記買ふ　吉田ミナ
雉鳩の時雨に白し赤芽樫　吉田素糸